

なにわ花まつりで県産花きを PR

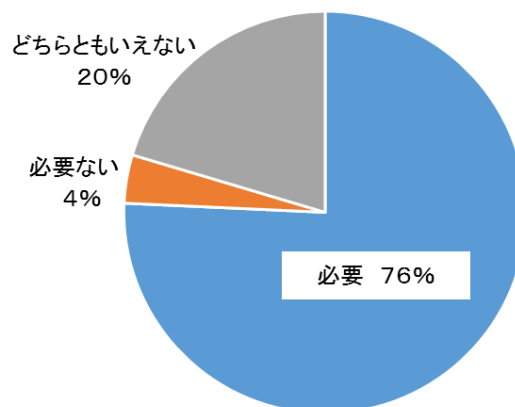
第 6 回なにわ花まつりが、6 月 21 日に大阪鶴見花き市場において盛大に開催されました。

当日は各地の J A をはじめとする出荷団体、種苗メーカー、資材メーカーなど、様々な花き関連団体が出展し、出店団体は 50 団体を超えました。買参人をはじめとして、700 名以上の花きに関心のある方々が来場し、会場は花談義で盛り上がりました。

J A グループ和歌山では、スプレーギクやヒマワリを中心に七夕をイメージした展示を行いました。また、スターチスやカスミソウのドライフラワーの装飾展示を行うとともに、合計 180 名の方に「母の日参り」アンケート調査やドライフラワーのプレゼントも実施しました。さらに、スプレーマムでは、生産者の代表と取引先との検討会を開催し、有意義な意見交換を行いました。



母の日参り展開の継続の必要性



アンケート調査の結果について、62%の方が、母の日参りはしつていまずと回答しました。また、母の日参り展開の継続の必要性については、図に示したように、76%の方が必要と考えていました。

今後も様々なイベント等を通じて、和歌山県産花きを P R し、販売促進や消費拡大につなげたいと考えています。
(県農野菜花き販売課)